

収穫終盤 農作物生育状況

十勝では収穫作業が終盤を迎えています。ビートの収穫は終盤に差し掛かり、ながいもなどの根物野菜の掘り取り作業はピークとなりました。

ゆとりみらい21推進協議会がまとめた10月15日現在の農作物生育状況によると、てん菜（移植）の根周は43・8cmと平年よりやや大きく推移しています。

収穫作業が終わった飼料用とうもろこしや馬鈴薯は1～4日程度遅く収穫が終了し、てん菜・大豆においては平年より2～5日程度早く収穫が始まりました。小豆においては平年より7日程度早く収穫期を迎えております。

一方、秋まき小麦は、降雨のため播種及び出芽期は平年より2日程遅れている状況です。

ながいもの作柄につきましては、いも重は平年を上回っておりますが、いも長及びいも径・首長・乾物率は平年より下回っております。

また、10月8・9日に当組合の長いも坪堀調査が実施され、重量・収量ともに前年よりも上回る見込となりました。

収穫期の終盤と共に疲労もピークとなり、交通事故・農作業事故が多くなっていく傾向があります。夕暮れが早まっており、視界が悪くなっているため、無理な作業を避け、ゆとりをもって収穫作業を行うよう心がけましょう。



ビート収穫作業



小豆収穫作業

第9次中長期計画策定会議

第9次中長期計画策定にあたり、第1回中長期計画策定会議が10月16日、開催されました。組合長・専務並びに各部2～4名の策定計画メンバーが集まり、令和4年から令和8年までの5年間の農業振興計画・農協運営計画について話し合われました。

第1回会議では、常勤役員より今後の経営ビジョンや検討事項の提示、第9次中長期計画の策定方針及び策定手順等について話し合われ、第8次中長期計画策定同様、「組合員アンケート」による組合員意向調査の実施が決定されました。

第2回会議では、第8次中長期計画の進捗状況や現状調査・分析方法、「組合員アンケート」の内容の検討等を行う予定となっております。

農業や農協をとりまく情勢は依然として不透明ではありますが、地域農業振興に向け、組合員、役員、職員が一丸となり目標に向かって邁進していく事が重要な時代です。組合員の皆様には中長期計画策定の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い致します。



消防訓練

9月11日に農協事務所にて職員を対象に幕別消防署札内支署協力のもと、防災意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練を実施しました。

本年度は事務所内からの火災発生を想定し、火災報知機発報から、火災発生確認・初期消火、消防への通報、屋外避難までの訓練を行いました。また、金融窓口のお客様も想定して、避難誘導も取り入れながら訓練を行いました。

新事務所へ移転後、初めての消防訓練実施ということもあり、火災報知機の設置箇所や避難誘導の流れ等をしっかりと確認することができました。

